

平成30年度 学校総合・新人体育大会特別規定 及び 競技上の注意事項（補則）

埼玉県中体連軟式野球専門部

7 用具装具については、試合前に審判員または大会役員の確認に応じなければならない。用具については、J S B B認可のものとし、破損等のないものとする。

① ヘルメットについては、チーム同一のものとし、マークやイヤーカーバーの破損がないもの

■マークがはがれているものは不可。

⇒マークのはがれを接着剤で補修していれば可。

■内部の発泡スチロールや、ビニールが破損しているもの、ヘルメット本体から外れて動いてしまう状態のものは不可。

※以上の不可のものに関して、今大会まではランナーコーチに限り使用を認めるが、2018年度の学校総合体育大会より、ランナーコーチも使用不可とする。

② バットについては、グリップテープのはがれや金属部分等の破損がないもの

■グリップテープがはがれていたり、破れて金属部分が見えているものは不可。

⇒グリップテープの破損部分をビニールテープ(同色)で補修していれば可。

■単一素材バット・複合素材バットに関わらず、1cm以上の亀裂・破損があるものは不可。

③ キャッチャー用具については、面の金属部分が見えたり、プロテクターやレガースの部分破損がないもの

■面(マスク)の金属部分にまいてあるビニールが破れて、金属部分が見えているものは不可。

⇒破損部分をビニールテープ(同色)で補修していれば可。

■プロテクターは破れて中のスポンジ等が見えていたら不可。ゴムやバックルが破損していたら不可。

■レガースはプラスチック部分が割れていたり、破れているものは不可。

15 リストバンド、バットリング、マスコットバット、鉄棒、リストガードの使用を禁止する。

◎ 手袋使用については白または黒の単色とする。

※ 手首等の負傷者が保護目的で使用するリストガード（手袋一体型も含む）については、2016年度の新人体育大会より禁止とする。

16 野手の野球用サングラスについては、球審に申し出て許可を得る。

（フレーム、レンズ共に黒色）

23 危険防止のため次のことを徹底する。

③ 捕手のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと、打者と走者、ベースコーチは、打撃用両耳付きヘルメットを必ず着用すること。また、リストバンド及びハイカットストッキングの使用を禁止する。

39 選手は事故防止のため、ハイカット・アンダーソックス一体型のストッキングは禁止する。捕手はレガース・ヘルメット・マスクのスロートガード（マスク一体型も可）・プロテクターは必ず着用すること。また、急所カップを着用する。

打者・走者は両耳付きヘルメットは必ずかぶること。ランナーコーチも両耳付きヘルメットを着用すること。（チーム同一のもの）

※試合前の用具確認は、その試合を担当する審判員4人揃って（もしくは控え審判を含む5人）1チームずつ行う。使用できる用具の可否については、審判部と競技部で検討し、最終判断をする。